

題 漁業調査指導船「ほうじょう」に異動したわたし

漁業調査指導船「ほうじょう」
航海士 加々美 雄也

皆様、初めまして、令和3年4月1日付けで神奈川県水産技術センター相模湾試験場「ほうじょう」に配属になりました加々美雄也です。

3月まで、三浦市にある水産技術センター（本所）で「江の島丸」に乗船していました。「江の島丸」では、海洋観測、サバ資源調査、底魚調査など、様々な調査を行って来ました（公務員ですが、漁労調査が多く、実際には漁師さんのようなイメージです）。

「江の島丸」に乗船するまで漁労経験がなく何も分からなかった私ですが、2年間の「江の島丸」勤務で様々な知識や技術を学び習得する事が出来ました。

それらの経験を「ほうじょう」でも活かし、当场での調査、研究を安全に遂行し神奈川県水産業の振興に貢献していきたいと思っています。



漁業調査指導船「ほうじょう」とわたし



船外機船「はやかわ」での作業

「ほうじょう」は、3名の船員がおり、航海士である私は、甲板作業、運航作業のほか機関保守点検や調査・研究の補助などもおこなっています。その他にも、事務作業（運航、物品購入、修理依頼、行政文書作成、船舶検査に関わる事務）など様々な業務をおこなっていますので、画像とともに、わたしの業務をご紹介します。



画像1 潤滑油こし器開放清掃



画像2 「ほうじょう」の操縦



画像3 潜水作業による藻場調査



画像4 江の浦でのカジメ増殖用務



画像5 養浜調査に伴う採泥状況



画像1 調査船「ほうじょう」の、主機（エンジン）の潤滑油こし器を分解して清掃しているところです。エンジンを動かすと、どうしてもオイルが汚れるためフィルター掃除をしないとエンジントラブルの原因になります。そのため、フィルター掃除を定期的におこなっており、機関士とともに作業を実施しています。

画像2 「ほうじょう」を操縦しているところです。海面には、漁師さんが仕掛けた漁具や川などから流れてきた流木など、様々な浮遊物があるため、接触しないように細心の注意が必要です。

画像3 潜水作業で、カジメ（海藻）の分布や、生育状況調査の補助をしているところです。本来、船員である私は、船のプロペラにロープが絡んでしまうなどのトラブルの際、潜水作業により除去します。そのため、安全に潜水作業を遂行出来るよう訓練も兼ねて、定期的に潜水作業を伴う調査・研究の補助に従事しています。

画像4 船外機船「はやかわ」を使用して、江の浦沖にて磯焼け（ウニ、アイゴなどによる食害等により魚の住まいや、サザエ、アワビなどのエサである海藻が無くなることです。）対策としてカジメを増やす試験をしているところです。「はやかわ」は小さな船ですが、船長の責任は大きな船と変わりません。乗組員の安全を第一に考えて運航し、研究員の方々と作業に取り組んでいます。

画像5 底質調査で、ウインチを使用して採泥器により海底の泥を採取しているところです。ウインチ作業は、ワイヤーがプロペラに巻き付いたり、人が巻き込まれる危険があるため、大変

危険です。船を操縦している船長や一緒に作業する人と息を合わせ、一つ一つ慎重に操作する事を心掛けています。

これまで、事務作業や機関（エンジン）などに触れる機会があまり無かったので初めは戸惑いましたが、新しい事を学びスキルアップしていく楽しさを知ることができました。

相模湾試験場所属の漁業調査指導船「ほうじょう」に配属になり3ヶ月が経ちました。まだまだ、慣れていないところもありますが、神奈川県水産業の振興のため、尽力していきたいと思えます。



船外機船「はやかわ」を操縦しているわたし